

水辺再生100プラン 第1回元荒川水辺再生事業検討会

■時間、場所、出席者等

〔開催日〕平成21年7月9日(木)

〔場 所〕鴻巣市役所本庁舎

〔出席者〕県民提案者、地元自治会長、鴻巣市、埼玉県 他

〔主な内容〕

- ①水辺再生100プランについて
- ②元荒川の現状について
- ③水辺再生に向けた課題
- ④アンケート調査実施について
- ⑤検討会スケジュールについて

①水辺再生100プラン事業とは

水辺再生100プラン事業について、水辺再生課から説明を行いました。

(水辺再生課HPへリンク)

また、下の写真の事業区間が県民提案の箇所であり、当該箇所を中心として4回の検討会を行います。



一般的な水辺再生事業のイメージ



水辺再生100プラン推進事業区間

②元荒川(郷地地区)の現状、

元荒川(郷地地区)は、川幅が40m程度で、河岸にはメダカやギンブナなどの生物が生息していますが、植生が繁茂し階段等がなく水辺に近づきにくくなっているのが現状です。



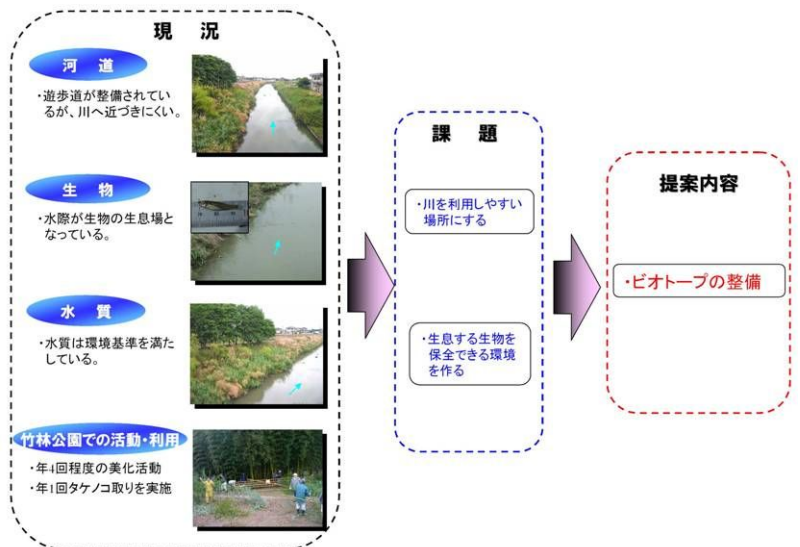
元荒川の様子



元荒川～竹林公園の様子

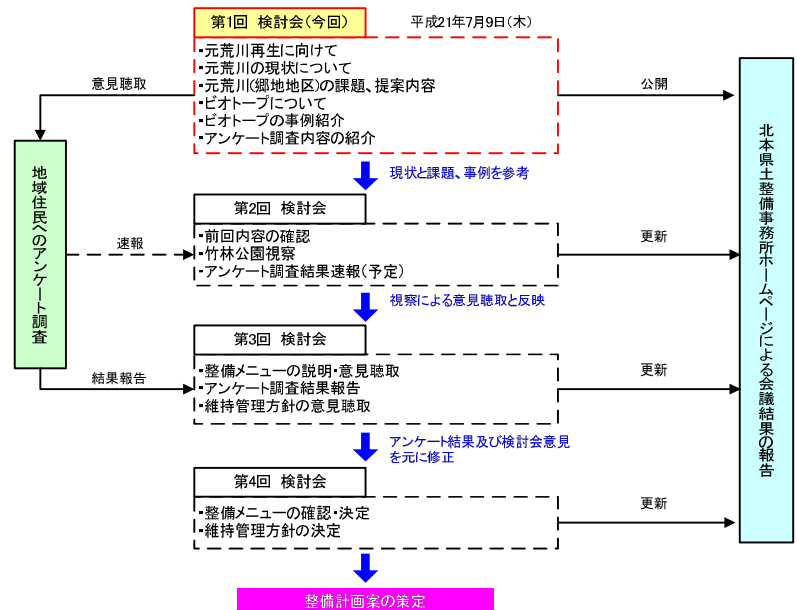
③水辺再生に向けた課題

川を利用しやすい場所にする
こと、生息する生物を保全
できる環境を作ることが課題
として挙げられます。



④検討会スケジュールについて

検討会は計4回行う予定で、
次回の第2回検討会では、竹林
公園の視察を行う予定です。





第1回検討会のようす

第1回検討会では、メンバーの方々から以下のような意見が出されました。

<元荒川の現状について>

- 元荒川の水質は良くなりつつあるのではないかな。
- 元荒川では、ドジョウ・タナゴ等が確認されている。また、三谷橋の下流でアユが確認されている。

<元荒川の課題について>

- 洪水時にビオトープが流失する、土砂が堆積するなどの問題が生じるのではないかな。
- 子供が川に近づかない根本の原因を解決するべき。

<要望など>

- ビオトープより蛇籠や階段を設置した方が維持管理・安全面で良いのではないかな。
- 坂路を設けるなどして、川に人が入りやすくしてほしい。
- 極力コンクリートではなく、自然に近いものにしてほしい。
- 伐採した竹を再利用できないかな。
- 竹炭を川に沈めて水質改善に役立てられないかな。